

～認知症高齢者にやさしいまちづくりを目指して～ 認知症初期集中支援チームを設置しました

認知症は、加齢とともにどなたでも発症する可能性が高まります。認知症の予防を心がけることはもちろんですが、早期発見や早期対応が重要になっています。そこで、野木町では認知症になっても、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、認知症初期集中支援チームを設置しました。

【背景】

厚生労働省主体で、認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指し、「認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)」が策定されました。認知症高齢者等にやさしい地域づくりを推進していくため、平成30年度には全市町村で実施することとなっています。

【認知症初期集中支援チームとは？】

チーム員は専門医、保健師または看護師、社会福祉士または介護福祉士などのスタッフで構成されています。

支援としては、ご本人・ご家族や周囲の方から相談を受け、認知症が疑われる方のもとへ伺い、必要なサービスを検討し、関係機関等につないでいきます。(最長6ヶ月間の支援)

①相談



②自宅への訪問



③チーム員会議



④支援

- ・認知症の方へのかかわり方や対応方法を指導
- ・医療機関への受診方法や必要な介護福祉のサービスの提案や相談など



【対象者は？】

40歳以上で在宅で生活しており、認知症が疑われる方で下記に該当する方

- ・認知症の症状はあるが、認知症の専門医による診断をされていない。
- ・医療・介護サービスを受けていない、または中断している。
- ・医療・介護サービスは利用しているが認知症状の対応に苦慮している。

認知症は早期発見・早期治療により進行を遅らせることができます。また、軽度の認知症であれば早期治療と対応で元気な状態に戻ることも可能だといわれています。認知症が気になる方、認知症の家族のことでお悩みの方は下記連絡先までご相談下さい。

問 健康福祉課 ☎(57)4173

野木町地域包括支援センター ☎(57)2400